

千葉県夢チャレンジ体験スクール

千葉県教育委員会では、県内の多様な産業や大学等と連携し、子どもたちが様々な職種における就業体験や科学・技術体験等を通じて、職業に必要な資質や能力等について学ぶとともに将来の職業に対する夢を育むことを目指し、平成18年度より「千葉県夢チャレンジ体験スクール（旧科学・先端技術体験スクール）」を実施しています。

毎年300~400名の児童・生徒が参加し、科学実験や体験活動、研究者との交流を通して、職業に対する夢を膨らませています。



学校における社会体験活動

千葉県では「実践、実習、現場体験に重点をおいたキャリア教育の推進」を図るため、発達段階に応じて、職場見学や職場体験、インターンシップを実施しています。

その実施率は、毎年、小学校・中学校ともに95%を超え、高校については、85%を超えています。

その他、社会で活躍する職業人を学校に招き、仕事の内容ややりがいなどの話を聞き、将来の職業を考える機会を設けています。



応援  
します!

# 教育CSRに 取り組む企業

\*教育CSRとは

CSR (Corporate Social Responsibility) = 「企業の社会的責任」のうち、教育分野における貢献活動を教育CSRと呼んでいます。

企業には、学校等と連携した職業教育・キャリア教育への協力等、学習する機会の提供やそのための環境づくりに取り組むことが期待されます。さらに、社員が自らの生活を充実させ、また、自ら学習の機会をもち、それを活用することによる社会参画や貢献を可能とするような環境が確保できるよう、社員のワーク・ライフ・バランスの確保のための取組が求められます。

企業における家庭教育支援講座

普段から家庭教育について学ぶ機会や時間がとれない働く父親や母親のため、社内研修の場を利用した家庭教育支援講座を行っています。実施企業には千葉県教育委員会から講師を派遣します。

これまでに開催された講座では、仕事をもちながら、どう子どもと向き合ったらよいかなど、会社の勤務形態に応じたわかりやすい話がありました。

受講者からは、子どもが小さいときから年齢にあった子育てをしっかりやらないといけないことがよくわかった、家庭の安定が働く意欲にもつながるなど、御好評をいただいています。



子ども参観日キャンペーン

子どもたちが、勤労観、職業観を身に付け、社会で自立し、仕事を通じて社会に貢献することができるように、大人が働く姿を見せたり、家庭で仕事の話をしたりしながら、働くことの大切さについて知る機会を作っていくことが必要です。

千葉県教育委員会では、企業等に、子どもが保護者の職場を訪問する「子ども参観日」の実施を呼びかけるキャンペーンを行っており、毎年、多くの企業等に参加していただいています。

仕事上の親の姿を見ることによって、仕事について考える有意義な機会となっています。



教育CSRフォーラム「企業と取り組むキャリア教育」

企業等の教育CSRへの関心が高まる中、「学校からの要望がない」「何をしたいかわからない」「他の会社の取組内容を知りたい」といった声も聞かれます。そこで、企業や学校、行政がそれぞれの立場でキャリア教育や教育CSRについて、本音で語り合う場として本フォーラムを開催しています。

参加者からは、「様々な立場からの意見を伺えた貴重な場でした。」(企業)、「このような交流の場はありがたい。同様の場を多く設けてほしい。」(学校)などの感想があり、大変好評です。



夢チャレンジ体験スクールや子ども参観日などについては、下記アドレスで紹介しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku-bunka/kyouiku/gakkou/career/index.html>

教育CSR 千葉 検索

連絡先 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室  
TEL : 043-223-4069・4167 FAX : 043-222-3565  
E-Mail : kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp

発行 千葉県教育委員会、千葉県夢チャレンジ体験スクール実行委員会

「教育CSRに取り組んでいる企業・社員の声」

《夢チャレンジ体験スクール協力企業》

子どもたちの元気な挨拶を聞くと、気持ちよく説明することができます。また、体験後の子どもたちのレポートに「将来はソニーで働きたい」と書かれているとうれしくなります。受入れを通して社員の意識も高まっています。

【ソニーイーエムシーエス株式会社木更津サイト】



体験活動の一環として、若手社員と対話の時間を設けています。これは、若手社員にとって、仕事を見つめ直すきっかけとなっています。

また、上司にとっても、若手社員の仕事に対する思いや悩みなどを知ることにもつながります。

【野村證券株式会社 千葉支店】



《地域振興に取り組んでいる企業》

D I C (株)総合研究所は美術館と共に、地元佐倉市で「弥富納涼盆踊大会」など地域行事に協賛したり、学校教育支援講座を開催したりしています。顔の見える企業として地域の皆様のお役に立つことが、社員の活力につながっています。

【D I C 株式会社総合研究所】



《子ども参観日実施企業》

作っているモーターが、どんな場面で役に立っているかを知ること、社会に貢献していることを伝えることができます。

家族揃っての会社や工場、社員食堂での食事など、家族のコミュニケーションが図れます。

【マブチモーター株式会社】



千葉県マスコットキャラクター「チーパくん」

※教育CSRに取り組む企業は、「ちば家庭・学校・地域応援企業登録制度」に申し込むことができます。詳しくは中面を御覧ください。

教育CSRに  
取り組む企業の皆様へ

# 「ちば家庭・学校・地域応援企業等 登録制度」に登録しませんか

従業員の家庭  
教育支援

学校教育への  
貢献活動

## 登録するには

教育CSRの取組を2つ以上している。

県のHPから申込用紙を  
ダウンロード

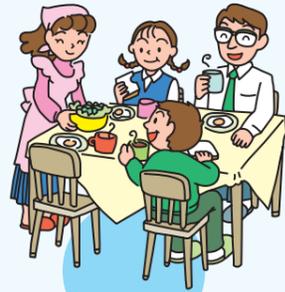
記入し、生涯学習課へ  
(メール又は郵送)

審査

約2週間で登録証が  
届きます

とっても  
簡単

※まだ取り組んでいない企業の方は、右の取組例を参考に、社員や地域のためにできることから始めてみませんか。



早寝・早起き・  
朝ごはん運動の推進



ノーテレビデー、  
ノーゲームデーの実施



授業参観や学校  
行事、学校支援  
ボランティアに  
参加しやすい  
環境づくり

職場で大人の  
働く姿を見せる  
「子ども参観日」の  
実施



家庭教育に  
関する  
社内研修会の  
実施

「家族の日」や  
「家庭の日」を活用し、  
子どもと一緒に  
過ごす時間を増やす



\*家族の日：11月の第3日曜日  
家庭の日：毎月第3日曜日



県や市町村等の  
キャリア教育事業への協力



企業のもつ技術力などを  
生かした出前講座の実施



社会科見学や  
職場体験・インターン  
シップの受け入れ

企業のもつ技術力や  
最新の情報を  
ホームページや教材を  
通して発信



## 教育CSRの 取組例

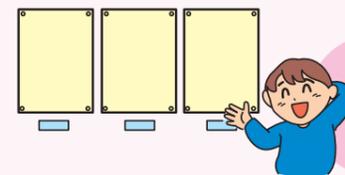
地域社会への  
貢献活動



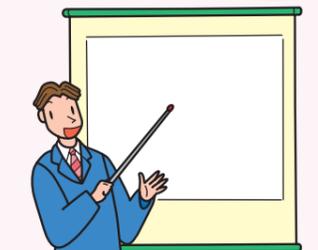
公民館等の催し物に出展や地域の  
お祭りなど、地域行事への参加



ホームページやチラシなどを  
通して、子育てや家庭教育等に  
関する情報を発信



地域への施設開放や  
地域の学校に作品展示の場を提供



企業のもつ技術力などを  
生かした講座や学習機会の  
提供

### Q 登録すると、県はどんな応援をしてくれるの？

- A
- 千葉県のホームページや広報物などで、企業名やその取組を紹介します。
  - 教育広報をはじめ、様々な子育て情報やイベント情報を提供いたします。

### Q 取組をすると、どんなメリットがあるの？

- A 様々な効果が期待できます。例えば・・・
- 企業イメージが向上する
  - 従業員の家庭生活が安定し、仕事へのモチベーションがあがる
  - 会社に対する社員の誇りがアップする
  - 職場体験などを受け入れることで、社員が初心に立ち返ることができる
  - ワーク・ライフ・バランスを推進することができる など

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。  
(登録申請用紙もダウンロードできます)

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/tourokuseido.html>

### ご存知ですか？(改正)次世代育成支援対策推進法について

平成23年4月1日から施行された同法では、従業員101人以上の企業に、従業員数に応じて、仕事と子育ての両立を支援するための一般事業主行動計画を策定し、都道府県労働局にその旨を届け出ることが義務付けられています。(100人以下の企業では努力義務)

コラム

# 「子ども参観日」 キャンペーン



マフチモーター株式会社  
【夏やすみ家族向け工作教室】

千葉県教育委員会では、子どもたちが親や大人の働く姿を見たり、家庭で仕事の話をしたりすることで、働くことの大切さについて知る「子ども参観日」の実施を推進しています。

## ★ 期待できる主な効果

### 子ども

- ・ 親の働く姿を見ることで、親が社会に貢献していることを知ることができる
- ・ 親以外の大人に接することで、挨拶の仕方など、社会のルールやマナーに触れることができる
- ・ 親の職場の見学や、職場の特色を生かした体験により、仕事というものに興味をもつことができる

### 家庭

- ・ 子どもとの関係がより深められる
- ・ 家族の会話が増え、仕事に対する家族の理解が得られる

### 職場

- ・ 職場が明るくなる
- ・ 職員がその職場で働くことに誇りを感じられる

**職場の活性化** ……家庭生活の安定と、仕事に誇りを感じることで、仕事に対するモチベーションがアップする

**社会貢献** ……未来を担う子どもを育成することができる

## 「子ども参観日」を実施しませんか



★実施後には・・・



実施した様子を県教育委員会ホームページで紹介

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/career/sankanbi.html>

詳しくは裏面に

## Q1 どうしてこのような取組をしているのですか？

子供には、将来の夢や希望を育む「キャリア教育」の視点から、親には、家庭の教育力向上をサポートする「家庭教育支援」の視点から、『**新みんなで取り組む「教育立県ちばプラン」**（千葉県教育振興基本計画）<H27.2策定>』に重要な取組として位置付け、「子ども参観日」の取組を推進しています。

## Q2 どのようなことをしたらよいのですか？

子供たちの夏休み期間を利用し、普段見ることができない親の頑張る姿を見せたり、一緒に仕事を体験したりします。子供たちには、名刺交換や社長さんへの挨拶・質問コーナーなども好評です。

## Q3 平成26年度に実施した感想はどうですか？

### 【子供たちの感想】

「大変そうだったけど、みんなでひとつの仕事をやっていて、カッコいいと思いました。」  
「いつも帰りが遅いから心配でした。お父さんがこんなにがんばっていたとは思いませんでした。」  
「みんなが一生懸命仕事をしていたので、見習わなくちゃいけないと思いました。」

### 【お父さんお母さんの感想】

「仕事をしている姿がわかり、家の中でも手伝いを積極的にしてくれるようになりました。」  
「子供が親の仕事に興味を持ったようで、仕事の話聞いてくるようになりました。」  
「子供もそうですが、妻も非常に喜んでおり、親の仕事を家族が理解するために貴重な体験になったと思います。」

### 【事業所からの感想】

「可愛い子供が事業所内をまわることで、ほのぼのとした雰囲気になり、清涼感が漂いました。」  
「家族揃っての会社にはじまり、体験を通して作成した工作物を自慢げに親に見せている子供がいるなど、家族のコミュニケーションの促進が図れました。」

### 平成26年度の協力企業・事業所 18団体70事業所（五十音順）

アイ・エス・ガステム株式会社、イオングループ株式会社グループ会社21社、一般財団法人市川市福祉公社、出光興産株式会社千葉製油所・千葉工場、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社、香取地域振興事務所、株式会社京葉銀行、株式会社千葉銀行本店及び19支店、株式会社テツゲン君津支店、株式会社レカムサービス、公益財団法人柏市医療公社柏市立病院、生活協同組合・ちばコープみらい、千葉県立千葉盲学校、千葉県立長生特別支援学校、千葉県立特別支援学校流山高等学園、TOTO 株式会社東関東支店、船橋市立中央図書館、マブチモーター株式会社、

### 「子ども参観日」を実施いただける場合は…

- 千葉県教育委員会のホームページ・報道発表等で紹介させていただく予定です。
- 「子ども参観日」予定表に記入の上、FAX又はメールで御連絡ください。様式は県ホームページからダウンロードできます。



### お問い合わせは…

生涯学習課学校・家庭・地域連携室まで  
TEL: 043-223-4069 FAX: 043-222-3565  
E-mail : [kyscho2@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:kyscho2@mz.pref.chiba.lg.jp)  
県ホームページ  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/career/sankanbi.html>



## 「子ども参観日」予定表

平成 年 月 日

●の部分についてのみ県のホームページ等で紹介する予定です。

(フリガナ) ●事業所名			
代表者氏名			
所在地	〒 ー		
担当者名		担当部署・役職	
担当者連絡先	TEL: ー ー FAX: ー ー 電子メールアドレス: @		
●実施予定日	平成 年 月 日 ( ) 午前 午後 終日		
実施場所		参加を予定している子どもの人数	名程度
●具体的な活動内容（日程なども含め、活動内容について御記載下さい） ※「子ども参観日」以外の名称の場合には、その名称もご記入下さい。			
※スケジュール表など当日の内容がわかる資料があれば添付してください → あり なし			

予定表の様式は、県ホームページからダウンロードできます。

→ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/career/sankanbi.html>

メールによる送付先 → [kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp)

### 「子ども参観日」を実施するにあたって

#### ①実施上の留意点

- ・実施の経費等は、各機関等で負担してください。
- ・行き帰りも含め、子どもの安全・健康管理については十分配慮してください。

#### ②その他の留意点

- ・「子ども参観日」キャンペーンは年度を通して行っていますが、報道発表での広報は、7月を予定しています。
- 報道発表での広報を希望する場合は、6月末日までに予定表を御提出ください。
- ・実施後アンケートにご協力ください。また、活動の様子や感想等についてご報告いただければ、ホームページ等で紹介させていただきます。